



JBAは北加日本商工会議所(JCCNC)と共同で毎年カリフォルニア州都サクラメントを訪問しており、今年も6月20、21日に訪問を実施した(カリフォルニア州議事堂前にて。詳細はp.2-3)。

- 2-3 2018年度サクラメント訪問報告
- 4-5 「第30回OC運動会」報告
- 6-7 アメリカで活躍するJBA会員企業インタビュー
●Subaru Research & Development, Inc.
- 8 ミキサー (異業種交流会) 報告
- 9 新入会企業紹介
- 10-11 各部会からのお知らせ
- 12 8月・9月のJBAイベントカレンダー

<http://www.jba.org>

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

2018年度 サクラメント訪問報告

去る6月20、21日、JBAは北加日本商工会議所と共同で、毎年恒例のサクラメント訪問を実施した。今回もDMVやカリフォルニア州経済促進知事室との会談、カリフォルニア州上院議会訪問など、非常に成果の多い訪問となった。



AI Muratsuchi 下院議員(左から3人目)と大川JBA会長をはじめとするJBAメンバーで記念撮影。



DMVとの会談。左から Bill Davidson 氏 (Chief Deputy Director)、Jean Shiomoto 氏 (Director)、Coleen Solomon 氏 (Branch Chief - Licensing Branch)。



Go-Bizとの会談風景。

〈今回の訪問日程〉

■6月20日(水)

- ・ AI Muratsuchi 下院議員との会談
- ・ カリフォルニア商工会議所 (Cal Chamber) との昼食懇談会
- ・ カリフォルニア州陸運局 (DMV) との会談
- ・ カリフォルニア州経済促進知事室 (Go-Biz) との会談とレセプション

■6月21日(木)

- ・ カリフォルニア州上院議会訪問
- ・ Kevin De Leon 上院議員との会談
- ・ Scott D. Wiener 上院議員との挨拶
- ・ カリフォルニア州災害対策知事室 (Cal OES) との会談

JBAは、北加日本商工会議所 (JCCNC) と共同で毎年カリフォルニア州都サクラメントを訪問しており、今年も6月20日、21日両日に訪問を実施した。同訪問は、州政府や関係団体との関係維持・強化を図る目的で20年以上毎年行っており、今年もJBA会員からいただいたアンケート回答を基に、トランプ政権移行後の州政策の変化、労働賃金を含めた企業コスト、州政府からの助成金、自動運転や環境規制、インフラ整備、テロや災害対策等に対する州政府の取り組みといったトピックを取り上げ、意見交換、質疑応答を行った。また、カリフォルニア州上院議会で訪問団が紹介を受けたほか、サウスベイ地域を地元とする唯一の日系人議員 AI Muratsuchi 氏との意見交換や Go-Biz (カリフォルニア州経済促進知事室) との夜のレセプションでの交流等を通じて、州に対する日系企業の貢献度をアピールした。

唯一の日系人加州議会議員

AI Muratsuchi 下院議員との会談

AI Muratsuchi 下院議員は日本人が多く住むトーランス、パロスバーデス、ガーデナなどを含む第66下院選挙地区から選出された、唯一の日系人カリフォルニア州議会議員である。この会談で、「日系企業のカリフォルニア州への投資規模、雇用人数、そして平均賃金は同州に進出している他のどの国よりも上回っている」という旨を、LAEDC (ロサンゼルス郡経済開発公社) によって作成されたFDIレポートから説明した。また、「日系企業が海外への投資先としてGDP世界5位となるカリフォルニア州を好んでいる」という説明もした。その反面、同州における規制や雇用法など、日

系企業が直面する問題についても話した。Muratsuchi氏からは「環境規制などは確かに厳しいが、カリフォルニア州はクリーンエネルギーや気候変動緩和の分野でリーダーシップを取る州となることを目指している」との説明があった。さらに、同氏から「カリフォルニア州に進出するメリットとしては、ハイテクや研究開発に携わるビジネスにとっては他州よりも高レベルのエンジニアやプログラマーが多く、そのような人材を他州で獲得することは困難である」という話も受けた。また、その反面、「シリコンバレーやシリコンビーチで、賃金の上昇から手頃な価格の住宅が消えるという危機が発生しており、州全体として今後の大きな課題として捉えている」という話もいただいた。

会談の途中、Anthony Rendon 下院議長が参加し、「カリフォルニア州議会としては、カリフォルニア州と連邦政府では貿易や国際関係に関する方針が異なるということを確認したい」と話された。また、カリフォルニア州下院議員の代表団による日本訪問の計画についても触れられた。

カリフォルニア商工会議所との 昼食懇談会

カリフォルニア商工会議所 (Cal Chamber) の幹部と昼食懇談会を実施し、カリフォルニアの経済・産業動向およびカリフォルニア州の環境や雇用に関する規制について活発な意見交換を実施した。CEOのAllan Zarembek氏からは、「カリフォルニア州には厳しい規制もあるが、人材確保や地理的な面で日系企業へのメリットは多いので、カリフォルニア商工会議所や他の専門家からアドバイスを受けながら、カリフォルニア州での事業が成功することを願っている」という話をいただいた。

カリフォルニア陸運局との会談で 「Real ID」の説明などを受ける

Jean Shiomoto 長官を含むカリフォルニア陸運局 (DMV) 幹部4名との会談では、運転免許発行に関してJBA会員から寄せられる多くの問い合わせに対し、個別対応していただいていることへ感謝の言葉を伝えた。また、免許発行までの期間短縮化の依頼に対しては「外国人の免許証交付は、DMVでの申請受付後に国土安全保障省で審査があることが、交付までに時間がかかる一因である」との説明もいただいたほか、免許の有効期限に関しては、「申

請費は5年間をベースにしている」「I-94」やビザの期限との調整がある」などの説明があった。さらに、「自動運転に関しては法整備に向けて公聴会を開始するなど、本格的なプロセスがスタートしている」とのコメントもあったほか、2020年から連邦政府によって使用が義務付けられる「Real ID」の説明もあった。DMVは今年の1月から「Real ID」の申請を受け付けており、早めの申請を促された。

カリフォルニア州経済促進知事室との会談とレセプション

カリフォルニア州経済促進知事室 (Go-Biz: Governor's Office of Business and Economics Development) は、カリフォルニア州の経済促進と雇用創出のための州知事特命機関。今回の会談では、JBAの会員企業向けアンケートを基に事前送付したトピックスに対する州政府の見解を確認した。同知事室には、日本企業のカリフォルニア州経済・雇用への貢献を高く評価いただいたのと同様に、「労働規制や州政府による許認可事項、新規雇用に伴う税控除プログラムについて、質問や相談があれば無料でアドバイス提供や説明会開催を行うので、遠慮なく呼びかけてほしい」とのコメントをいただいた（特に許認可関係については、Go-BizとしてCountyやCityと連携したワンストップサービスを提供しているので、ぜひ活用してほしいとのこと）。加えて、「最低賃金の上昇、高額な家賃・生活費などが一因でカリフォルニア州外に移転する企業もあるが、一方でGo-Bizが同州への進出支援をした企業も多くある。税控除プログラムの他、各種インセンティブプログラムがあるので、ぜひ活用してほしい。Go-Bizでは、立地選定、許認可取得、各自治体への取り次ぎなどのサポート

を、新規企業だけでなく既存企業にも行っている」という旨も話された。

カリフォルニア州上院議会での上院議員より紹介を受ける

6月21日、JBA、北加日本商工会議所は、開催中のカリフォルニア州上院議会を訪問した。Hannah-Beth Jackson上院議員から出席した上院議員全員に対して、我々訪問団を一人一人紹介していただくという栄誉を受けた。同時に、「日本はカリフォルニア州に対する最大の投資国であり、日本企業が州内で大きな雇用を創出していることに感謝すると共に、そうした関係を今後も一層強化していきたい」とのメッセージをいただいた。また、議長席の横には日本の国旗が用意されていた。

Kevin De Leon上院議員と公共交通機関や環境問題について会談

Kevin De Leon上院議員は、リトルトキョーを含む第24上院選挙地区から選出されたカリフォルニア上院議員であり、今年の3月までは上院の最有力者である仮議長を務めていた。また、現在は連邦上院議員の候補でもある。同氏は過去に日本を訪問した経験もあり、訪問時の話からとても日本に対して好意を持っていると感じた。また、日本の公共交通機関からカリフォルニア州が学べることも多くある一方、クリーンエネルギーや環境保護についてカリフォルニア州から日本が学べることもあるのではないかと話した。上院議員の代表団による日本訪問をぜひ実現したいとも話した。

災害やテロ発生時の対応を行うカリフォルニア災害対策知事室との会談

カリフォルニア災害対策知事室 (Cal OES) は、災害やテロなどが発生した際

に対応を行う、あらゆる州や連邦政府機関の中核となる機関である。現在は特に、地震やサイバー攻撃、テロ行為などが生じた場合の対策制度に力を入れている。彼らからは、「携帯電話の普及により固定電話の数が減っているが、災害時には固定電話の方が携帯電話よりも信頼性が高いため、固定電話は持っていた方がよい」などの話があった。

JBAは今回のサクラメント訪問における成果も踏まえた上で、JBA会員企業がさらに有意義な情報を収集できたり、メリットを享受できたりするよう、引き続き取り組んでいく。



カリフォルニア州上院議事室内にて、JBAおよびJCCNCメンバーの集合写真。



カリフォルニア州上院議会にて、Hannah-Beth Jackson上院議員による紹介を受けた後の集合写真。

極上の和食、いせしま。

いせしま
Ise-shima
at the MIYAKO

都ハイブリッドホテル1階
(310) 320-6700
www.ise-shima.us

トランスとダウンタウン 都ホテルは2つのチョイス。

MIYAKO HYBRID HOTEL
都ハイブリッドホテル トランス・カリフォルニア
21381 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111 Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

MIYAKO HOTEL LOS ANGELES
都ホテル ロサンゼルス
328 E. First Street, Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000 Fax: (213) 617-2700
www.miyakola.com

ご宿泊はJBA会員企業特別料金をご利用頂けます。詳細は各ホテルへ直接お問い合わせください。

「第30回OC運動会」報告

去る6月10日の日曜日、オレンジ・カウンティのアーバイン高校スタジアムで、「第30回OC大運動会」が開催された。今年は、55企業から177家族、479人が参加。終日真っ青な空が広がり、燦々と照りつける太陽の下での運動会となった。



運動会を裏で支えた実行委員の面々。



開会のあいさつをする早崎部会長。



太平洋を渡ってはるばるやってきた家康くん。祭りと同じと血が騒ぐ性格だそう。左右はスケさんとカクさん。

はるばる太平洋を越えて 浜松から特別ゲストが登場

当日は、運動会実行委員らがオレンジ色のTシャツを着用し、午前8時頃から自分の持ち場の準備を入念に開始。9時頃になると徐々に参加者らが集まり、受け付けを済ませていった。広々としたグラウンドでは、走り回る子どもたちや柔軟などの準備運動をする大人たちが増え始め、徐々に活気付いていった。

午前9時30分。本部席から開会式を告げる放送が流れると、参加者らがテントから出てフィールドに集合。早崎岳志オレンジカウンティ地域部会長が壇上に上がり、開会を宣言した。早崎部会長は、運動会開催のために寄付をしてくださった企業や、事前の段取りから当日の準備まで全てボランティアで協力してくださったJBA会員企業や個人、および中心になって活動してくださった実行委員会メンバーらに謝辞を述べた。また、今年が記念すべき第30回目の運動会になることに喜びと感謝の意を表明。そして、「今日はアメリカで暮らす皆さんを応援するために、はるばる静岡県浜松市から特別ゲストが来ています」と紹介すると、左右をスケさん、カクさんに守られた愛らしい姿の「出世大名家康くん」が登場した。家康くんとは、浜松城を築いて17年間城主を務めた後、天下統一を果たした徳川家康にちなんだ同市のマスコットキャラクター。「ゆるキャラグランプリ2015」優勝という実績の持ち主で、会った人にはお近づきの印に「出世運」を授けてくれるという。当日は終日、運動会の観戦と手伝いに励んでくれた。

最初のプログラムはラジオ体操。もちろん模範演技は家康くん。短い腕を一生懸命回しては、その愛らしい姿をアピールしていた。



家康くんが模範演技。コミカルな動きが愛らしい。

いよいよ競技開始。まずは小学生未満による「幼児ドン」。これは単独の25メートル走で、一心不乱に全力疾走する子どもがいれば、親に手を引かれて泣き出す子どももいた。次の「オレンジ運動会」は、プラスチック製のラケットにオレンジを乗せてゴールを目指す25メートル走。急げば急ぐほど体の揺れからバランスを崩してオレンジが落下。落としたら拾って再度ラケットに載せて走るのだが、もちろん手で押さえることはルール違反。まっすぐ走るだけでなく、三角コーンでいかにオレンジを落とさず折り返すかも勝利の鍵だった。

次は、小学生以上の男女による「徒競走」。低学年の男女は必死にゴールを目指す姿がかわいらしいが、学年や年齢が上がるるとともに走る速度が増し、中高生男子になるとそのスピードは凄まじかった。

毎年人気の「親は顔面蒼白」は、手を使わず小麦粉に埋まった飴を探し出して口にくわえ、子どもを背負ってゴールを目指す競技。顔を小麦粉に埋めて飴を探すため、顔中真っ白になって走る大人の姿に笑い声が絶えなかった。

小学3年生以上の男女が紅白に分かれて行う「綱引き」では、家康くんが旗振り役となり、競技を盛り上げた。

午前の部最後は、小学生以上による中距離走の「アーバインマラソン」。特に壮年の部(30代男子)では800メートル走るため、年齢的にはもはや長距離走のレベル。日頃の運動不足がたたってか、苦しい顔でゴールするランナーが多く見受けられた。

昼食中にはドアプライズ抽選会を開催。22社から寄付された総額8000ドル相当の賞品が当選者に手渡されていった。午前の部が終了した時点で、紅白とも16点。この同点が午後の熱戦に拍車をかけることとなった。



目指すは1位のみ!(幼児ドン)



折り返しの三角コーンでオレンジを落とさないようにするのがポイント(オレンジ運動会)。



扇子をもって家康くんが両チームを応援(綱引き)。



恥なんて気にしない気にしない(親は顔面蒼白)。



声を合わせて着実に進むベアもいれば、一人で走り出すベアも(二人三脚)。



「この袋を手を持ってゴールに行くのよ」。のんびりゴールを目指しましょう(親子で買い物)。



大ハッスルの大人たち。両ひざを付いて投げるのがルールです(大人の玉入れ)。

勝敗の決め方は最後のチーム対抗リレー

午後の部は「二人三脚」から。2人が互いの脚をひもでくっつけて走るお馴染みの競技だが、歩調が合わないと進めない難易度の高い競技だ。もちろん転倒者も続出。

次に、親が小学生未満の子どもの手を引き、賞品入りの袋をピックアップしてゴールを目指す「親子で買い物」や、4人が電車に見立てたロープの輪に入り、先頭が運転手、真ん中2人は乗客、最後尾が車掌として走り、次のグループにたすきを渡す「電車道」が行われた。

成人男女による「大人の玉入れ」と小学3年生以下の男女による「子どもの玉入れ」では、年齢に関係なく参加者全員が大ハッスル。そして、小学5年生以上の女子による「大玉運び」と熱戦が続いた。

最後はお待ちかねの「グループ対抗リレー」。紅白と、それぞれを青、橙、緑、黄に分けた合計6グループで勝敗を競っ

た。リレー直前では、紅52点、白60点と白が僅差でリード。しかし逆転も十分可能であることから、リレーが勝敗を決定するという大盛り上がりの展開となった。第一走者が一斉にスタートすると、会場から大歓声が起こった。そして、アンカーにバトンが渡ると観客のボルテージは最高潮。結果は青(紅)が一着。以下紅、緑(白)、白、橙(紅)、黄(白)と続いた。

興奮冷めやらぬ中、全競技が無事終了。ラジオ体操、会場の掃除を経て閉会式が始まった。早崎部会長が再度壇上に入り、参加者ら全員の健闘を労うとともに、運動会開催に尽力した関係者らに謝辞を述べた。そして「家康くん、気を付けて日本に帰ってくださいね」と特別ゲストの無事の帰国を願った。

今年の結果は、紅117点、白100点と紅が逆転勝利。紅白両チームから沸き起こった大きな拍手とともに、第30回OC大運動会は成功裏に幕を閉じた。

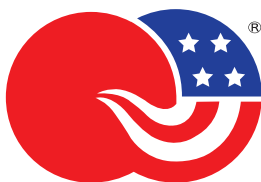


後ろを少し上げて進むのがポイント(大玉運び)。



青(紅)が見事1位でゴール。おめでとう!(グループ対抗リレー)

北川 & イバート法律事務所



KITAGAWA & EBERT, P.C.
(949)788-9980 日本語でどうぞ。
www.JAPANUSLAW.COM

With Lawyers Licensed in Multiple States Including
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC
 北川・イバート両弁護士ともにMartindale-Hubbell Peer Reviewにおいて“AV PREEMINENT”™(法的能力・道徳性)評価

WALL STREET JOURNAL, Chicago Tribune, Los Angeles Times 弊社勝訴が各誌にて紹介

必勝・難題解決のプロ・良心的

- 訴訟・仲裁・裁判・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設・売買
- 税務争訟・遺産・相続

北川 リサ 美智子 弁護士

京都大学法学修士
 東京大学法学研修
 連邦最高裁判所認可弁護士

CALIFORNIA, TEXAS, NEW YORK, GEORGIA
 (MAIN) 300 SPECTRUM CENTER DR. SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998
 (TEXAS) (BY APPT.) 5851 LEGACY CIRCLE, 6TH FL., PLANO, TX 75024

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
2

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の、アメリカ進出の歴史や事業内容、今後の展開などに迫るコーナー。

同社のこれまでの歩み

- 1968 ● SOA(Subaru of America)設立
- 1972 ● SOAの一部門として、主にアメリカにおける排気ガスの認証業務を行うSEL(Subaru Emissions Laboratory)をLA(サンタアナ)に設立
- 1986 ● SELの主要業務を調査、開発に移し、SRD(Subaru Research and Design)としてLA(ガーデングローブ & アーバイン)に移転
- 1993 ● Subaru of Indiana Automotive (SIA・生産工場)をインディアナ州に設立。同工場内での北米仕様車の生産、設計をサポートするSRD-INを立ち上げる
- 1998 ● ミシガン州のアン・アーバーにSRD本社を移転。同時に、社名をSRD(Subaru Research and Development)に変更
- 2015 ● SRDのデザインスタジオをLA(タスティン)に設立。本社からデザイン部門を移転

Subaru Research & Development, Inc.

2008年から9年連続でアメリカでの販売記録を更新している自動車会社、SUBARU。同社の躍進をデザインやリサーチ、車両テストなどの面で支えるSubaru Research & Development, Inc. (SRD)に話を聞いた。

—アメリカにおいて2008年の18万8000台から9年連続で販売記録を更新し、17年は約64万7000台を売り上げたSUBARU。SRDはこの躍進にどのように関わってこられたのでしょうか。

販売やマーケティングはSOAが行っていますが、北米での販売が好調なのは、彼らが08年から始めた「LOVEキャンペーン」の存在が大きいです。それまでは水平対向エンジンやAWD(全輪駆動)など、性能面での長所をアピールしていたところを、同キャンペーンではSUBARUの車でどれだけ生活が安心して楽しくなるかにフォーカスし、ユーザーに訴えかけていったんです。これにより、一部の車好きだけでなく一般ユーザーにも広くSUBARUの車の良さを伝えられました。そんな中、SRDはアメリカにおいてデザイン、認証テスト、現地走行試験、市場ニーズ調査および車の開発や仕様への反映、車を日本の設計図通りにアメリカで生産するための各種調整、品質管理などの業務を担ってきました。デザインで言うと売上の大きいアメリカでこういうものが受け入れられるかはやはり大事ですので、SRDでニーズを吸い上げ、新たな車のデザイン案に適宜反映させています。ただ、スバルはほとんどの車種は全世

界共通デザインですので、必ずアメリカの意見が採用されるわけではなく、日本やヨーロッパのデザインスタジオとの社内コンペを通して、最終的なデザインが決まります。開発では最近ですと、SUBARU初の3列シート大型SUV、アセント(18年5月に発売開始)は、SRDの提案を強く反映しています。車の実用性とスタイルを重視するアメリカのニーズに応えた形です。

—ただ、マーケティング戦略だけで車が売れ続けるとは思えません。なぜこれだけ、SUBARUの車がアメリカで受け入れられたのでしょうか。

アメリカで当社が得意とするSUVの人気が高いというのはあると思います(同社は「アウトバック」や「フォレスター」、「クロストレック」等、複数のSUVを主力製品として展開)。それに加え、ユーザーがどんな車に乗りたいか、どうしたら安全で使いやすいかというのを愚直に追求し続けてきたことが、今の評価につながっているのではないのでしょうか。元々、SUBARUの車は、山が多く雪が降るオレゴン州やコロラド州で人気でしたが、それ以外のカリフォルニア州等でも売上が大きく伸びたのも、その結果だと思っています。

リタイアメントプランの管理 お手伝い致します



- プランスポンサーの受託者としての法的責任
- 投資パフォーマンスや投資銘柄の管理
- 金融教育の支援

LPL Financial
Miho Hatori 羽鳥美保, Financial Advisor
CA Insurance #0F51975

www.assetplanandprotect.com
Tel: (949) 877-3505 teamhatori@lpl.com

Securities and advisory services offered through LPL Financial, a registered investment advisor. Member FINRA/SIPC.



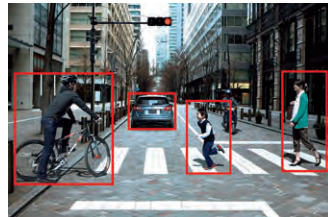
北米で最も売れている同社の車、「アウトバック」は2017年、実に18万8896台を売り上げた。

お話をうかがったのは
戸叶大輔さん

SRD Product Planning & Design Department・General Manager。1999年、SUBARUに入社し、以後、WRXやXV（クロストレック）等のエクステリアデザインに携わる。2013年にミシガン州のSRD本社に向向、15年に同社のタスティンオフィスに異動し、現在に至る。



スバル初の3列シート大型SUV「アセント」は、SRDの提案を強く反映している。



人や自動車などをカメラで認識し、ブレーキ制御やアラートで衝突回避を支援する「アイサイト」。



「WRX」のようなスポーツカーも、同社の真骨頂。今後、環境問題とどう折り合いを付けるかに注目。

ーアメリカという市場の難しさについてはどうお考えでしょうか？

日本でもアメリカでもヨーロッパでもそれぞれ独特の価値観があるので、どこの市場が特に難しいというのではなく、それぞれの土地にアジャストしていくのが面白さだと思っています。アメリカで言うと、日本よりも文化としての車の理解度が高く、車に詳しい人が多かったり、高齢になっても運転する人が多かったりするので、そういう中で認められ、長く愛される車を作りたいなど個人的には強く思いますね。

気自動車も開発は続けています。「WRX」に関しては、そのパワフルな水平対向エンジンとAWDがもたらす価値は何かと考えると、パワーはもちろんですが、低重心で意のままに操れる操作性や安全性なども挙げられます。それらが変わらなければ、極端な話、「WRX」が電気で動く車になってもいいかもしれませんし、高い実用性と運動性能を両立するSUBARUのスポーツカーとしてのアイデンティティーは失われないのではないかと考えています。

たり、疲れ、眠気で車がふらついた時に警報を鳴らしたりする運転支援システム。その目的はただ一つ、「事故をゼロにすること」です。限られた状況下でなら、アクセルやハンドル操作も全て車が行う完全な自動運転も技術的にできなくはないですが、それは我々が目指すところではありません。運転はあくまでも人が行い、不注意などで起こりうる事故を「アイサイト」が未然に防ぐようサポートする、という方向を今後も突き詰めていく考えです。

ーハイブリッドや電気自動車への取り組みについてお聞かせください。また、「WRX」のようなスポーツカーは今後、世界的に環境規制が厳しくなる中でどう生き残っていくのでしょうか？

ハイブリッド車は既に「クロストレック」のラインナップに入っており、プラグインハイブリッド車もまもなく販売予定です。電

ー昨今、自動運転技術において各メーカーがしのぎを削っています。貴社は運転支援システム「アイサイト」でその先陣を切っていますが、今後、「アイサイト」はどのような方向に向かっていくのでしょうか？

ここ数年、自動運転という言葉や手段が先行し過ぎている気がしています。「アイサイト」は危険時に自動でブレーキを制御し

ー最後に、今後の北米での展開について教えてください。

SRDとしては事業展開については話せませんが、今後も、安心と楽しさをキーワードに、ユーザーの共感を得られる車作りができたと思います。特に車は「人の命を預かる」製品ですので、安全面にはとりわけ力を入れつつ、もっと楽しい車を創っていきたいですね。



FDA・各種規制対応

- ・FDAコンサルティング(食品、化粧品、薬品、医療機器、福祉機器、放射線、動物)
- ・EPAコンサルティング(TSCAレポーティング、ペスティサイド登録など)
- ・UL, CE, VOC, AAFCO他各種登録

米国進出事業企画

市場調査、販売ネットワーク構築、日米間M&A、合併事業、米国撤退業務引継ぎ、事務所貸出



Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net

お問い合わせは宮尾迄。

1411 W. 190th St. Suite 200, Gardena, CA 90248, U.S.A.
(株) グロービッツ www.globizz.net



「アメリカに来てまだ4カ月。友達作りを兼ねて参加しました」(Ishigami, Ishigami, & Ochi, LLPの木村さん)、「色んな方と交流でき、とても有意義です」(Pasona NA, Inc.のアニーさん)。



「ロケーション抜群! 最高の企画だと思います」(JTB USA, Inc.の吉桑さん)、「ミキサーは初参加。楽しんでいます」(同社の高さん)。



「見知らぬ方と知り合えるのが醍醐味。できるだけ参加するようにしています」(kintoneの宗石さん)、「いつも楽しませていただいています」(NTL NAIGAI TRANS LINE (USA) INC.の西長さん)。



「JBAに入ったばかりですので、ミキサーがどういったイベントなのかと思いましたが参加してみました」(Vision Smart Center Inc.の野村さん)、「日頃なかなかお会いできない方とお知り合いになれて有意義です」(PACIFIC GUARDIAN LIFE INSURANCE COMPANY, LIMITEDの木所さん)。



「人脈作りや新規のお客さまとお知り合いになればと思い参加しました」(seeknet USAの大塚さん)、「素敵な風景を見に来ました(笑)」(PACIFIC GUARDIAN LIFE INSURANCE COMPANY, LIMITEDの大橋さん)。



「今日も多くの方に名刺をお配りして知り合いになって帰ります」(New York Life Insurance Companyの清武さん)、「私は4月に赴任したばかり。JBAのこうした企画に参加したことがなかったので、参加しました」(SoftBank Telecom America Corp.の花形さん)。



「ミキサーで初めてお会いする方と交流することで、新しいニーズを見つけられるかもしれないと思い参加しました」(One's NetWork inc.の小山さん)、「まだ存じ上げない方々とお話することを目的に参加しました」(同社の三野さん)。

企画マーケティング部会

レンドビーチの絶景スポットで ミキサー(異業種交流会)開催!

去る6月13日、レンドビーチにあるShade Hotelのイベントスペース、Sky Levelを借り切り、ミキサーを開催した。今回は美しいハーバーと夕暮れを見ながらという洒落た趣向。参加者からは、いつもと違う雰囲気でお酒を飲みながら交流を楽しめたことと好評だった。(皆さんのお名前は左から)

「アメリカには来たばかりなので、色んな方と知り合うために参加しました」(Seven Corners Insurance Solutions Inc.の相馬さん)、「4月から各社に来られた新スタッフの方々が来られているの嬉しい参加しました」(SoftBank Telecom America Corp.の池嶋さん)。



「今日は久しぶりの参加なのですが、年齢層が若くなっていて驚きました」(NAKANO WAREHOUSE & TRANSPORTATION CORP.のナカノさん)、「たくさんの方がおられますね。屋外開催も気持ちいいです」(U.S. TRUSTのオカモトさん)。



「ミキサーには初参加。色んな方と交流したいと思います」(NAKANO WAREHOUSE & TRANSPORTATION CORP.のタカハシさん)、「日頃なかなかお会いできない他業種の方と交流するために参加しました」(同社のムライさん)、「日頃関わることの多い日系企業の方々と交流するために参加しました」(JET TRANSACTIONSのジャスティンさん)。



スタート・パシフィック

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。



日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオール・トランスにごさいます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

もちろん、個人の住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住い探しもご相談下さい。

●ロサンゼルス店:

TEL (310)782-7877

1219 El Prado Ave., Torrance, CA 90501

info@startsla.com

www.starts.co.jp/la

●ニューヨーク店:

TEL(212)599-7697

www.startsnewyork.com

●サンゼ店:

TEL(408)380-2499

www.starts.co.jp/sanjose

●スタートコーポレーション株式会社:

TEL (03)6202-0111(代表)

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10

スタート八重洲中央ビル

www.starts.co.jp

●ハワイ店:

TEL(808)947-2280

www.startshawaii.com

●ダラス店:

TEL(646)708-6194

www.kaigai.starts.co.jp/dallas

会場からの眺め



今回はホテル3階のオープンエアスペースが会場。美しいヨットハーバーが一望できる素晴らしいロケーションだった。

会場の様子



顔見知りでも初対面同士でも、すぐに打ち解けて話に花が咲くのがミキサーのよいところ。仕事だけでなく、プライベートの話でも盛り上がっていた。

新入会企業紹介

Fujita Researchへの着任を機に、米国で事業展開する日本企業の方々との交流、情報交換の機会を持てればと思い入会致しました。

江川恵司さん



01

Fujita Research

DATA

住所：15821 Ventura Blvd. Suite 245, Encino, CA 91436
 ☎ 818-981-2657
 Web：www.fujitaresearch.com
 責任者：江川恵司 (Executive Vice President)
 従業員数：6人
 他の営業拠点：アトランタ

Fujita Research は、大和ハウスグループ傘下である株式会社フジタの100%出資子会社として1990年に設立。海外、主に米国での最先端技術の研究開発業務およびフジタメキシコへのサポート業務を中心に活動を行ってきた。2018年からは新たに米国の建設市場へ乗り出しているほか、不動産投資・開発の展開も予定しているなど、事業の拡大を図っている。

月に数度は南CAへ出張があり、JBAの活動に注目していました。南CAでは現地で実ビジネスに取り組んでいる企業が多く、我々も刺激を頂きながら共に成長をしたいと考えています。

Mitsuaki "Mits" Tanakaさん



02

Systema America Inc.

DATA

住所：1650 S. Amphlett, Blvd. Suite 213, San Mateo, CA 94402
 ☎ 650-346-9774
 Web：www.systema.us
 責任者：Mitsuaki "Mits" Tanaka (Executive Vice President)
 従業員数：10人
 他の営業拠点：ダブリン (オハイオ州)

Systema America Inc. は 東証一部上場の株式会社システナの100%子会社として2013年末に北カリフォルニアのSan Mateoで設立された。主に日系現地企業のソフトウェア開発・テストの支援をしながら、スタートアップの発掘、CVC投資、IoTビジネスの米国での立ち上げを行ってきた。IoT関連では、米国での事業経験が長い現地会社との合弁会社も18年1月に設立し、本格的な展開を計画。

オフィスの移転・改装は「オフィス設計」

- 設計・レイアウトデザイン
- 各種内装工事
- オフィス家具
- 電話・LAN・セキュリティー
- 引越・移転作業
- プロジェクトマネジメント
- コストマネジメント



Office Sekkei America, Inc.

☎ (310) 715-1001 ✉ la@officesekkei.com
 www.officesekkei.com/us

各部会からのお知らせ

「トランス Breweryめぐり」、 本年1回目を実施しての感想

文：Panasonic Corporation of North America・川神一樹さん

6月3日(日)、「Torrance Breweryめぐり」に幹事の一人として参加しました。当日はビールに最適の暖かな気候の中、24名の皆様にご参加頂きました。1軒目のSmog City Brewery & Taproomではおつまみが配られ、4ozのビールを各々選んで2杯。2軒目のMonkish Brewingでも4ozのビールを2杯。3軒目のCosmic Breweryではオードブルを準備し、16ozのビールを1杯飲みながら少し長めにご歓談頂くというスタイルでしたが、アルコールが進むにつれ舌も滑らかと



Cosmic Breweryで歓談する参加者の皆さん。



スナックとビール、最高の組み合わせです!

なり、皆様の親睦も深まった様子でした。また、前週に渡米されたばかりでJBAのイベントに参加されるのは初めて、という方もおられました、「ぜひまた参加したい」「お土産のビールまでもらえて良かった」等の感想を頂きました。3軒のブリュワリーは歩いて周れる距離にありますし、飲み比べると色々な種類のビールの存在を実感できます。個人的にも定番のコースにしたいと思います。

「ゴミ拾いハイキング」に 参加しての感想文

文：Taiheiyō Cement U.S.A., Inc.・細貝英伸さんのお嬢さん、細貝かえでさん

6月17日(日)、「ゴミ拾いハイキング」に家族で参加しました。今回の場所は有名な場所だと聞いていたのでとても楽しみにしていました。アメリカでこのような活動に参加するのは初めてで、少しでも多くのゴミを拾いたいと思いました。当日は朝の9時集合と休みの日に早起きするの



ハリウッドサインの真裏で記念撮影!



細貝家3人でハイチーズ!

が少し大変でしたが、現地に着くと天気も気温もちょうどよく快適でした。約6マイルのハイキングコースでしたが、小さな子たちもいてびっくり。ゴミ拾いを始めたと思ったよりゴミが少ないように感じました。しかし、よく見ると草木の茂みなどにゴミが隠れていて、宝探しみたいな感覚でした。途中で、多くの観光客の方々から「Thank you!」とお礼を言われ、心が温まりうれしくなりました。頂上では少し風が冷たかったけれど、ハリウッドサインが近くで見られたり、おしゃれな町並みが見渡せたりできて良かったです。JBAさんは景色の良いコースを選ぶため下見までしてくれたそうです。参加者の皆さんでたくさんゴミを集め、登山道をきれいにすることができて良かったですし、とても清々しい気持ちになりました。これからもこういった活動に積極的に参加していきたいと思っています。

「Port of Los Angelesツアー」 に参加しての感想文

文：Tokio Marine America・井口貴仁さん

6月21日(木)、「Port of Los Angelesツアー」に参加しました。マリタイム博物館に集合して集合写真を撮影した後、博物館内にて、ロサンゼルス港湾局の森本氏より、港湾局の仕事内容、同港の歴史や日系人との深い関わり、環境問題等について分かりやすくお話をいただきました。また、同港と隣のロングビーチ港について、コンテナの取扱量や取引の多い国等のデータも示しながら説明いただいたので、それぞれの港の現状が理解でき、物流の実務もイメージできました。物流がいか日常生活を支えているか、改めて実感できました。

1973年、残業をしているアメリカ人の割合は6%

2016年、アメリカ人の26%が働きすぎと回答

ムダな業務、
そろそろやめませんか。

 kintone

<https://www.kintone.com/jp>



船に乗ってロサンゼルス港湾内を見学。

また、第二次世界大戦前のロサンゼルス港には、Fish Harborと呼ばれた場所があり、そこに多くの日系人が住んでいたこと、そして大戦中には多くの日系人の方が強制収容所に収容されたことを伺いました。ロサンゼルスでは多くの日系人の方とお会いすること、お仕事することがありますが、過去に実際にあった事実として、私たち日本人がその歴史を知っておくことはとても大切なことだと感じました。JBAでは、マンザナー収容所跡巡礼バスツアーも開催されているようなので、次回は是非参加し、歴史を学びたいと思います。

森本氏が現在関わられているゼロ・エミッションのプロジェクトも興味深かったです。ロサンゼルス港とロングビーチ港では、2035年までに港を出入りするトラックをゼロ・エミッション（もしくはニアゼロ）にするという目標を掲げており、現在自動車メー

カーと共に、水素ガストラックや燃料電池トラックの開発に取り組まれているとのことでした。

森本氏よりお話を伺った後、博物館内を見学し、その後、乗船してロサンゼルス港湾内を見学しました。ここでも森本氏が終始案内役を務めてくださり、港湾内施設や荷役中の船の説明に加え、ハリウッド映画の撮影現場となった場所に関する豆知識も伺うことができました。

帰りには歴史をもっと勉強しようと、マリタイム博物館で『TERMINAL ISLAND (Lost Communities of Los Angeles Harbor)』という本を購入。約3時間のツアーは、あっという間に感じる充実した時間でした。仕事に役立つ知識も得られるので、非常にオススメです。最後になりましたが、企画から当日の運営までご対応いただきました事務局の皆様に感謝申し上げます。



博物館内のBrass Roomにて集合写真を撮影。



ロサンゼルス港についていろいろと説明くださった森本氏。



当日は多くの方々にご参加いただきました。

あさひ学園だより

JBA 役員・会員のための 学校説明・見学会

文：あさひ学園事務局

先日、トランス校にて、JBA 役員と会員の皆様のための学校説明・見学会を開催しました。日下部理事長と森本副理事長のご挨拶の後、小川校長から「日本国内の児童生徒の学力に近い水準を維持する」というあさひ学園の教育方針の説明、そして岩井専務理事より、幼稚部での「日本文化に触れる年間行事」や高等部での弁論大会の様子なども含めて、これからの国際社会に貢献できる子どもたちを育てていく環境づくりの重要性などをお話ししました。また、説明会後には、蔵書1万冊を超える図書室や保健室をご案内し、授業見学の際には、一生懸命に勉強に取り組む子どもたちの姿をご覧いただきました。来年2019年は創立50周年を迎えますので、記念行事を中心に、本校の50年の歩みや、時代に沿った教育方針のあり方についてもご説明しました。

21241 S. Western Ave., Suite 200
Torrance, CA 90501
Tel: (310) 320-2700 Fax: (310) 320-4630

www.singerlewak.com



Kakimoto & Nagashima
A Division of SingerLewak

会計監査・会計全般
税務全般(企業、個人)
会計アウトソーシング
コンピューターコンサルティング
経営コンサルティング

日本人スタッフによる信頼できるサービス

8/9月のJBAイベントカレンダー

8/4 (土) OCアニマルケア・ボランティア オレンジカウンティ地域部会	8/18 (土) ヤクルト工場見学ツアー 企画マーケティング部会	8/19 (日) 全米日系人博物館見学 & 二世ウィーク参加ツアー ダウンタウン地域部会	8/25 (土) カタリナ島ツアー オレンジカウンティ地域部会	※各イベントの詳細は、 JBAウェブサイトをご覧ください。
9/2 (日) 大リーグ観戦 ダウンタウン地域部会	9/8 (土)、 9/9 (日)、 9/15 (土)、 9/16 (日) 第55回JBA ソフトボール大会 企画マーケティング部会	9/15 (土) ビーチクリーンアップ サウスベイ地域部会	9/22 (土) 第25回OC現地校 セミナー オレンジカウンティ地域部会	9/30 (日) ミラマーエアショー・ バスツアー サウスベイ地域部会

新入会員

H&X Technologies, Inc.

Co-Production International, Inc.

1-Stop Translation USA, LLC dba 1-StopAsia

Liu & Wakabayashi LLP

HUF Worldwide

8900 Research Dr., Irvine, CA 92618

8716 Sherwood Terrace, San Diego, CA 92154

23133 Hawthorne Blvd., Suite 101A, Torrance, CA 90505

1455 Frazee Rd., Suite 500, San Diego, CA 92108

1642 Kaiser Ave., Irvine, CA 92614

☎ 949-538-2400

☎ 619-429-4344

☎ 213-480-0011

☎ 619-930-5784

☎ 323-264-8656

新任の車の手配は面倒だと聞いた。間違いだった。

社用車からご家族のお車までガリバーにご相談下さい。日本企業ならではの細やかさでお応えします。



**低金利ローン
& 保険**

新規赴任者向けのプログラム
を大手保険会社と連携実現。



**日本でやりとり
すぐに乗れる**

事前にメールでやりとりして
渡米してすぐに車に乗れます。



**あんしんの保証
サポートも万全**

プレミアム 1年保証で購入後
に発生した修理代金を保証。

¥ 高額買取
いたします

売却もガリバーへ

買取累計
13,000台



アメリカでも、中古車選びは
ガリバーへ



お問い合わせ Torrance / Los Angeles / Orange Country
1-800-783-0271 法人窓口：大塚・佐藤まで
24H オンライン受付

パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・便利な日本語コールセンター (Union Bank®*1・ジャパニーズ・カスタマーサービスユニット)
- ・ご帰国後の口座管理にも便利

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669** (フリーダイヤル・日本時間にも対応)まで
お問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group

*1 法人名の邦訳：ユニオンバンク

©2018 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC.

Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at unionbank.com/japanese.